

「新しいクリスチャン」

「愛」についての話しの中で、ギリシャ語には、4種類の愛を表す単語があるという話しがよく出ます。

ここでは「新しい」「New」と訳される語にも、ギリシャ語には2種類あるという話しをしましょう。

まず、例として次の聖句をご紹介します。

「新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。そんなことをすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」(マタイ 9:17)

ここに「新しいぶどう酒」という語が2回出て来ます。

そして「革袋」については「古い」の「新しい」の2つが出て来ます。

さて、ぶどう酒についての「新しい」というギリシャ語は「ネオス」です。

(ニューとかネオの語源です)

しかし「皮袋」についての「新しい」は実は「ネオス」ではなく別の単語が使われています。

それは「カイノス」という語です。

この違いを分かり易く説明すると、

「ネオス」は単に新しい、つまり時間的に最近という意味あいでも用いられます。

「若い」という意味もあります。

「カイノス」は、新鮮な、未使用 [fresh, unused]、斬新、(革新的なクオリティ、つまり、これまでと同じものではない) という場合に使われています。

つまり端的に言って「ネオス」は時間的な新しさ、「カイノス」は本質的に新鮮なものと言えるでしょう。

例えば、三日前に絞ったミルクを、すぐに冷蔵庫に保管したものと

昨日絞ったミルクを炎天下に放置していたものとは、どちらが新しいでしょうか。

と質問したら、どう答えるでしょうか。恐らく、きのうのヤツと答えるでしょう。

では、どちらが新鮮でしょうか？と聞いたら、まず大抵の人が、三日前のヤツと答えるでしょう。

時間的に新しいものと、本質的に新鮮なものの違いがこれで分かるでしょう。

仮にどんなに日数、年数が経っても、鮮度が失われないようにしてあるものは、常に新鮮であると言えます。

この例えの「新しいぶどう酒」とは新たに生み出されていたイエスの弟子たちであり、

古い皮袋とは「モーセの律法契約下」、新しい皮袋に入れるとは、イエスが教えられた「新しい契約」の下に入るという事でしょう。

ではその「新しい契約」の「新しい」は果たしてどちらのギリシャ語で表されているのでしょうか。

「…この杯は、わたしの血による新しい契約を表わしています。…」(ルカ 22:20)

紛れもなくここでは「カインス」が使われています。

そして、次の聖句。

「…わたしはあなた方に新しいおきてを与えます。…」(ヨハネ 13:34)

この「新しい」も、やはり「カインス」です。

ですから、古い契約と新しい契約と言う所から名付けられている「旧約聖書」「新約聖書」という呼び名も、実際は時代的に、古い、新しいと言うことではないので、適切な名称とは言えないでしょう。

キリストによる、クリスチャンに対する契約は、「本質的にピュア」な常に新鮮な契約であるということです。

最後に、もう一つ、「新しい」が二度使われているフレーズをご紹介します。

「…新しい人格を身に着けなさい。それは、正確な知識により、またそれを創造した方の像にしたがって新たにされてゆくのです。」(コロサイ 3:10 新世界訳)

一般にはほとんどの訳では「新しい人を着なさい」と訳しています。字義的には「新(ネオス)を身に着なさい」となっています。

そして、その結果として創造者の像に従って「新たにされてゆく」という方は、ギリシャ語「アナカイヌー」という語が使われています。

これは(アナ(再度) + カインス(新鮮) からなる語で 更新、作り直す という意味です。

比喩的に年若い、成長過程にある子供が、多くを学んで成長した大人になるように、聖書の正確な知識を日々新たに取り入れてゆくなら、よりクリスチャンらしさが更新されてゆく、真のクリスチャンとしての鮮度を保ち続けるという意味あいを読み取れます。

比較的と言って、ある時点でどんなに新しくても、時間の経過と共にどんどん古いものになってゆきます。

ネオス (NEW) が本当に新であるのは瞬間だけです。

「互いに愛し合いなさい」と言うキリストによる「新しいおきて」が与えられてから 2000 年も経ちましたが、今なおそれは、新鮮な教えです。

そのおきての内に生きる人は常に純粋な、新鮮なクリスチャンであり続けるということなのでしょう。